

2024年
暦年

県内景況・確報

◎概況 県内景況は、拡大基調にある。

●2024年暦年 おきぎん「カトレア」景況図●

県内景況



やや良い

個人消費



やや良い

建設関連



ふつう

観光関連



やや良い

企業倒産



やや良い

雇用状況



やや良い

2024年暦年の県内景況は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に3年連続で前年を上回りました。百貨店売上高は3年連続で前年を上回りました。耐久消費財である新車販売台数は2年ぶりに前年を下回りました。中古車販売台数は2年連続で前年を上回りました。

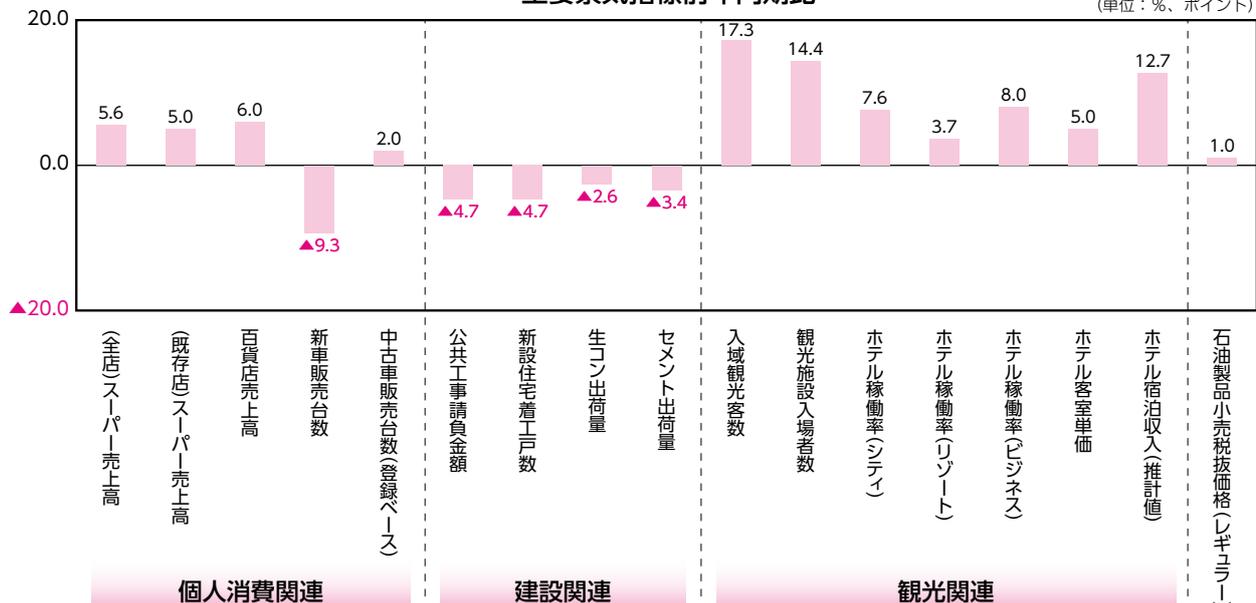
建設関連では、公共工事請負金額は2年ぶりに前年を下回りました。新設住宅着工戸数は2年ぶりに前年を下回り、建設資材である生コンは2年連続で前年を下回り、セメントは5年連続で前年を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は3年連続で前年を上回り、観光施設入場者数も3年連続で前年を上回りました。ホテル稼働率について、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに3年連続で前年を上回りました。ホテル客室単価は4年連続で前年を上回り、宿泊収入（推計値）は3年連続で前年を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は物価高の影響を受けながらも増加しており、観光関連は、団体客や外国人観光客の増加などから拡大基調にあります。建設関連は、弱含んでいます。よって、「**県内景況は、拡大基調にある**」と景気判断をしました。

主要景気指標前年同期比

(単位：％、ポイント)





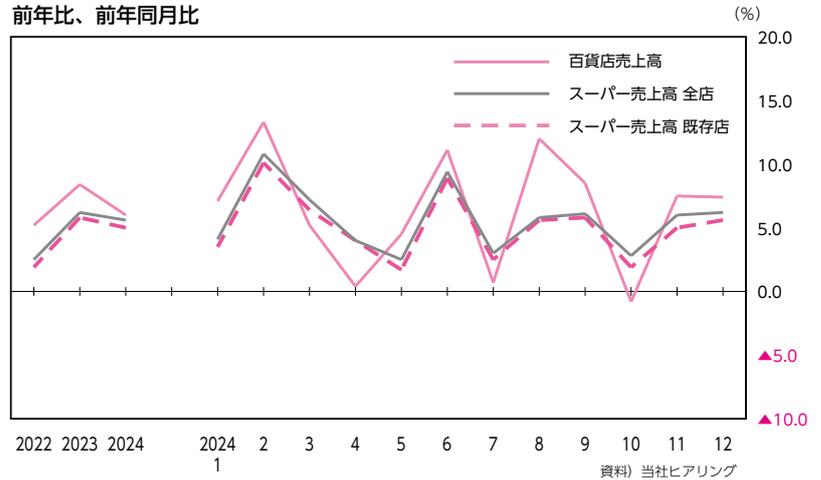
個人消費



(やや良い)

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年を上回り、百貨店売上高も前年を上回る。

2024年の個人消費関連は、スーパー売上高「全店ベース（前年比5.6%増）」は、新店舗の開店や物価高の影響などにより前年を上回りました。品目別では、「食料品（同4.8%増）」、「衣料品（同6.8%増）」や、家電を含む「家庭用品（同10.4%増）」共に前年を上回りました。

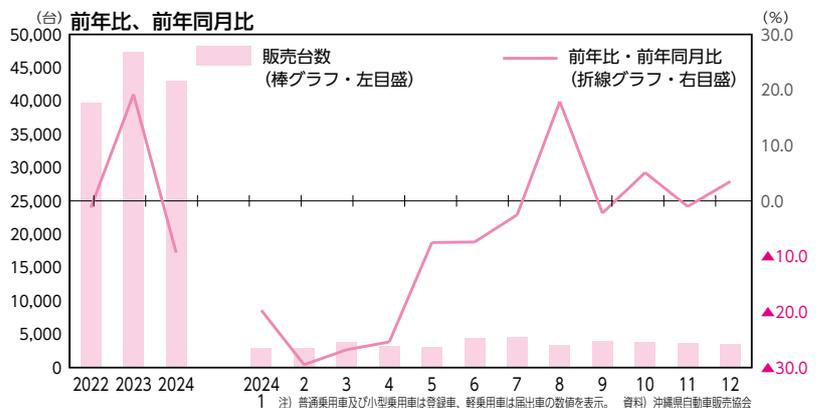


2024年の「既存店ベース（同5.0%増）」は、前年を上回りました。品目別では、「食料品（同4.4%増）」、「衣料品（同7.2%増）」、「家庭用品（同8.3%増）」は、物価高騰の影響による単価上昇などにより、前年を上回りました。

2024年の百貨店売上高は、インバウンドを含む来客増加が見られたことなどにより前年を上回りました（同6.0%増）。内訳をみると、ウエイトの高い「衣料品（同1.5%増）」は、前年を上回りました。「食料品（同6.9%増）」は、催事企画や来店客数の増加、一部物価高の影響などにより前年を上回りました。「雑貨（同12.6%増）」は、外国人観光客が増加したことによる免税売り上げ好調などにより前年を上回りました。

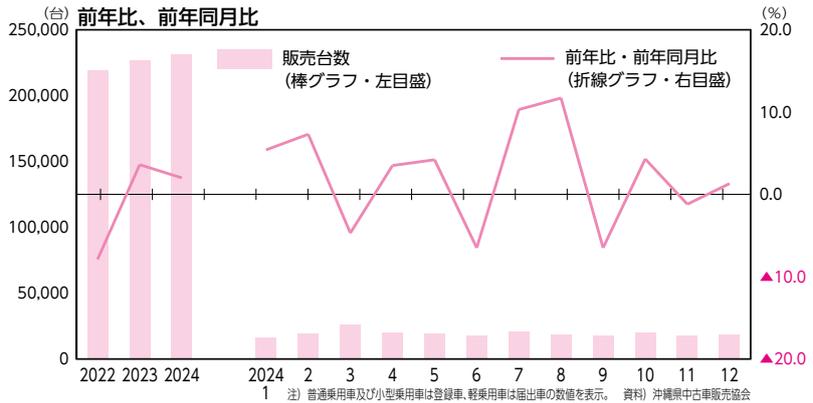
② 新車販売台数…新車販売台数は前年を下回る。

2024年の新車販売台数は、全体で43,018台（同9.3%減）となり、前年を下回りました。車種別では、「普通乗用車（同4.8%減）」、「小型乗用車（同14.3%減）」、「軽乗用車（同11.2%減）」は一部メーカーの出荷停止の影響などにより前年を下回りました。



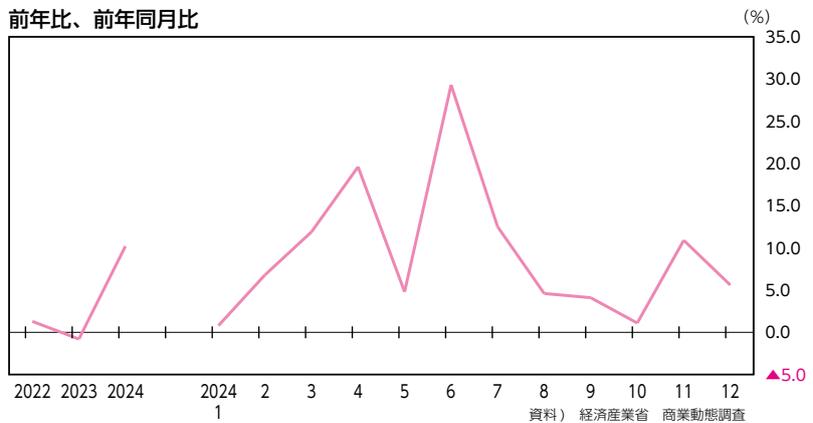
③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年を上回る。

2024年の**中古車販売台数（登録ベース）**は、全体で231,647台（同2.0%増）となり、前年を上回りました。車種別では、「乗用車（同5.5%増）」は、前年を上回りました。「軽自動車（同0.2%減）」は、前年を下回りました。



④ 大型家電専門店販売額…販売額は前年を上回る。

2024年の**大型家電専門店販売額**は前年を上回りました。

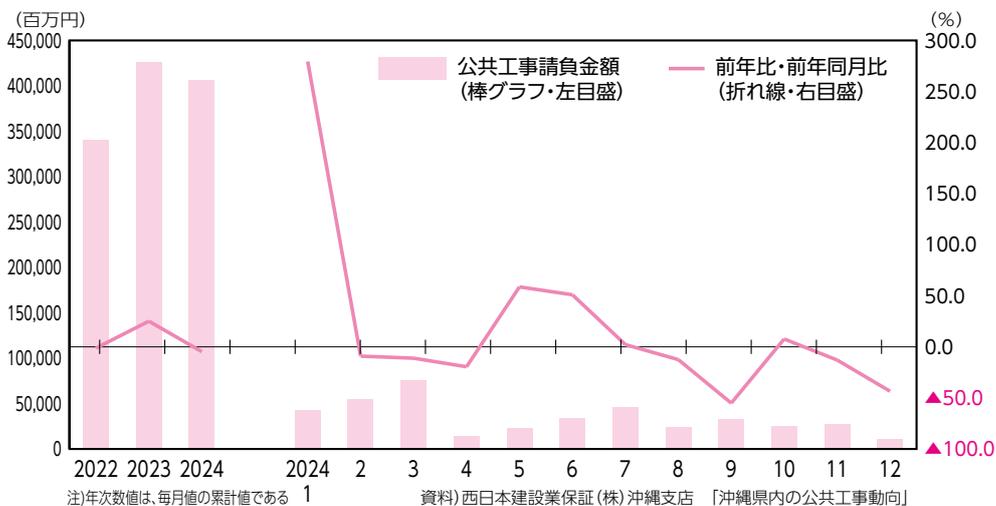


建設関連



(ふつう)

① 公共工事…公共工事請負金額は前年を下回る。

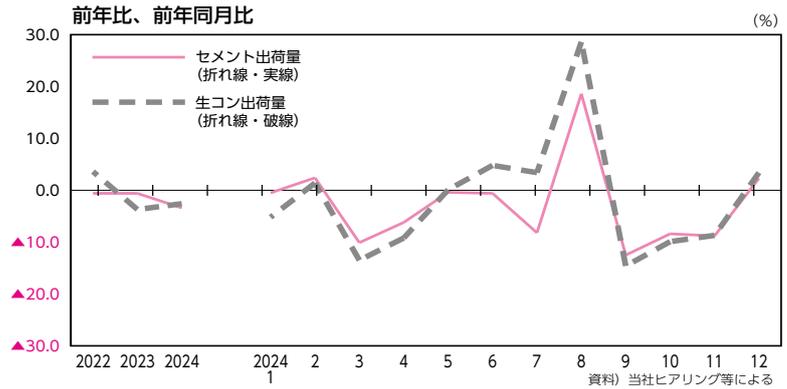


2024年の**公共工事請負金額**は、前年比4.7%減の4,056億100万円となりました。発注者別で見ると、「独立行政法人等（同57.9%減）」、「国（同10.0%減）」は前年を下回りました。一方、「その他の公共的団体（同164.5%増）」、「市町村（同1.2%増）」、「沖縄県（同1.2%増）」は前年を上回りました。



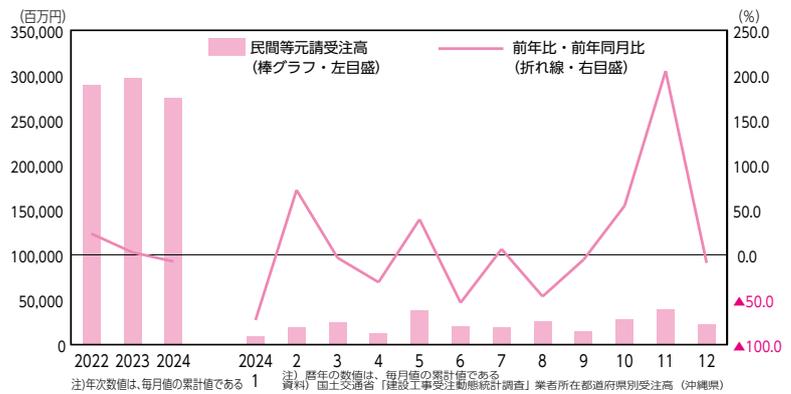
② 建設資材…生コン、セメントはともに前年を下回る。

2024年の建設資材関連では、生コンの出荷量は2.6%減と前年を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷は前年を5.2%下回り、民間工事向け出荷は1.3%下回りました。セメント出荷量は3.4%減と前年を下回りました。



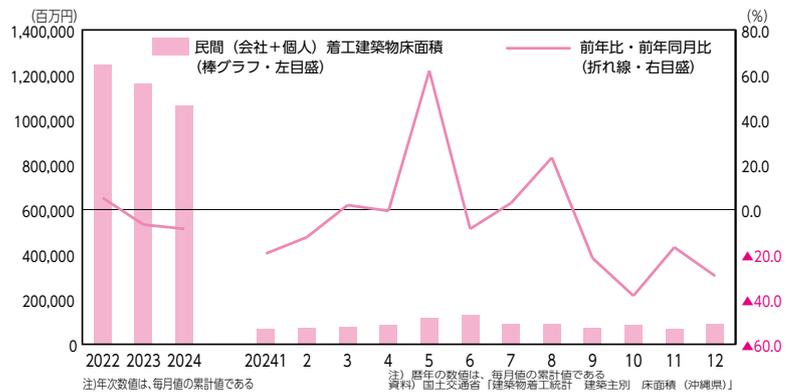
③ 【参考】民間等元請受注…民間等からの元請受注高は前年を下回る。

2024年の民間等からの元請受注高は、7.4%減と前年を下回りました。



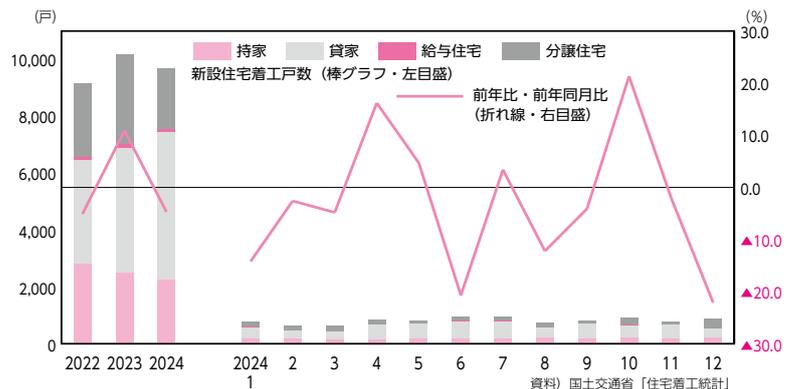
④ 【参考】民間着工建築物床面積(年度累計)…民間(会社+個人)着工建築物の床面積は前年同期を下回る。

2024年の民間(会社+個人)着工建築物の床面積は、8.6%減と前年を下回りました。



⑤ 新設住宅着工戸数…着工戸数は前年を下回る。

2024年の新設住宅着工戸数は、全体で9,703戸となり4.7%減と前年を下回りました。利用別戸数をみると、「分譲住宅(同31.4%減)」、「持家(同9.3%減)」、「給与住宅(同33.9%減)」は前年を下回りました。一方、「貸家(同17.8%増)」は前年を上回りました。

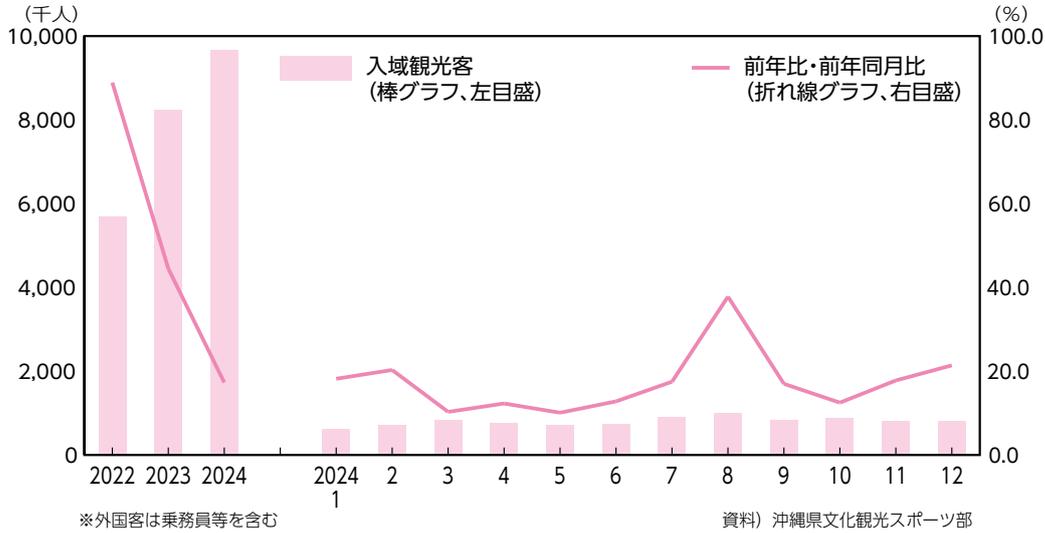


観光関連

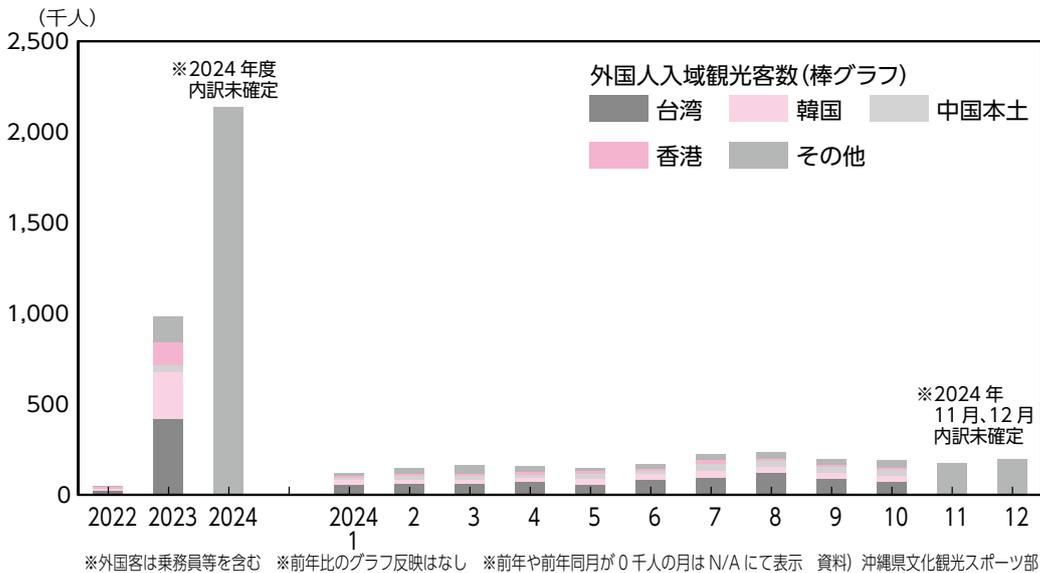


(やや良い)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…前年を上回る。



外国客 入域観光客数…前年を上回る。

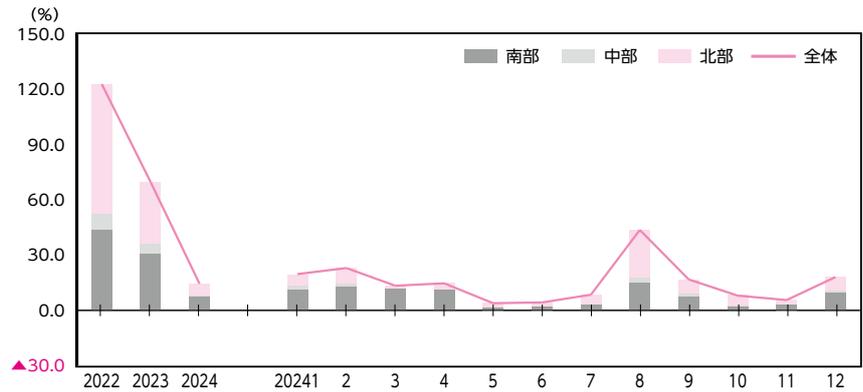


2024年の入域観光客数は、966万1,500人(前年比17.3%増)となり、過去3番目の実績となりました。国内観光客は、修学旅行など団体客の回復もあり、コロナ禍前の水準を上回り過去最高を記録しました。外国人観光客は、国際航空路線やクルーズ船の再開に応じた、緩やかな回復が続いています。令和元年の約7割程度となっており、今後も緩やかな回復が続くと予想されます。



② 観光施設入場者数…前年を上回る。

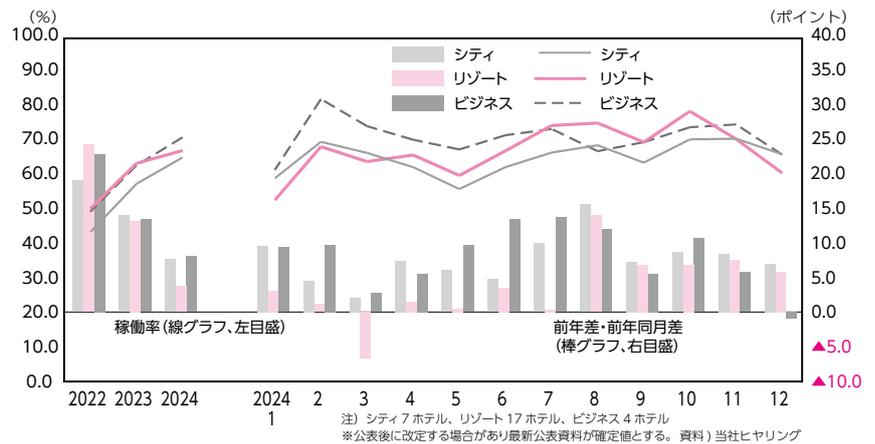
2024年の観光施設入場者数は、全体では前年比14.4%増加しました。地域別にみると、南部にある観光施設は前年比19.3%増、北部は同12.2%増と、中部は同7.6%増と全ての地域で前年を上回りました。



※調査対象施設数=南部 6、中部 5、北部 4 施設 ※グラフは寄与度を表示。資料) 当社ヒアリング

③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年を上回る。

2024年の県内ホテル稼働率は、シティホテルが64.5%と前年差7.6ポイント上昇、リゾートホテルが66.5%と同3.7ポイント上昇、ビジネスホテルが70.3%と同8.0ポイント上昇しました。旅行需要が高まる中、稼働率は堅調に推移しています。

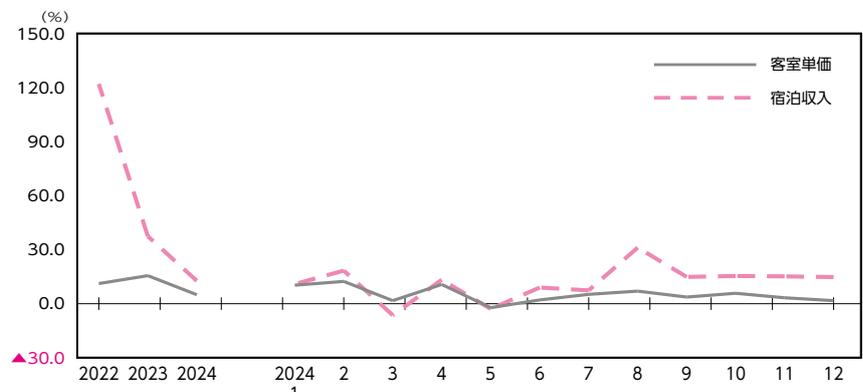


注) シティ7ホテル、リゾート17ホテル、ビジネス4ホテル ※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。資料) 当社ヒアリング

④ ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年を上回り、宿泊収入も上回る。

2024年のホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年比5.0%増と前年を上回りました。宿泊収入は同12.7%増と前年を上回りました。

シティホテル、リゾートホテルともに物価上昇などもあり、客室単価は上昇しています。稼働率についても上昇しており、宿泊収入は前年を上回りました。



※対象施設数:24施設(シティ7、リゾート17)、ビジネスは除く ※客室単価は24施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計) ※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする 資料) 当社ヒアリング



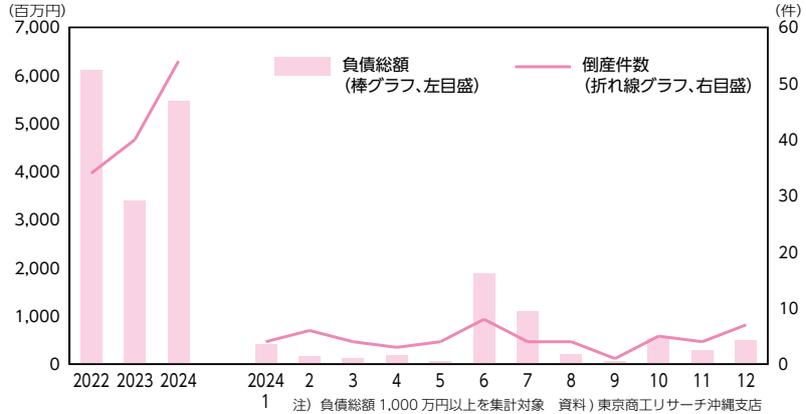
企業倒産



(やや良い)

① 企業倒産…倒産件数、負債総額はともに前年を上回る。

2024年の**企業倒産件数**は、54件（うち10億円以上の大型倒産は発生なし、うち1億円以上10億円未満の大口倒産は13件）となり、前年を35.0%上回りました。**負債総額**は54億7,900万円となり、前年を61.2%上回りました。



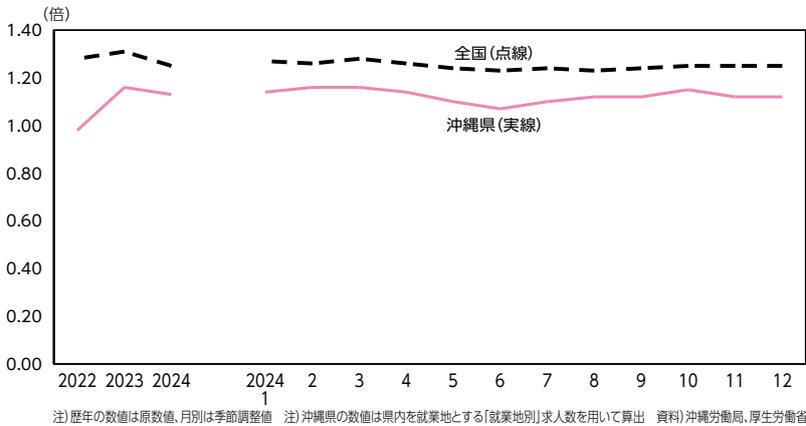
雇用関連



(やや良い)

① 有効求人倍率…沖縄県、全国はともに前年より低下。

2024年の**雇用状況**は、有効求人数（月平均）は前年比3.8%減の32,421人に対して、有効求職者数（同上）は前年比0.5%減の28,801人となり、**有効求人倍率（同上）**は1.13倍と、前年より0.03ポイント低下しました。



② 完全失業率…沖縄県、全国はともに前年より低下。

2024年の**完全失業率（原数値平均）**は、3.2%となり前年より0.1ポイント低下しました。

